

# 2018年度事業計画実施報告

2018年3月 1日から  
2019年2月28日まで

公益財団法人日本野球連盟

## 2018年度事業報告

### 1. 総括

2018年度の大会事業においては、第89回都市対抗野球大会は「大阪市・大阪ガス」、第44回社会人野球日本選手権大会は「三菱重工名古屋（東海・愛知）」がそれぞれ初優勝を飾った。

一方、第43回全日本クラブ野球選手権大会では、「大和高田クラブ（奈良）」が7年ぶり4回目の優勝を飾り通算優勝回数では和歌山箕島球友会と並び、最多10回の全足利クラブに次ぐ歴代2位となった。

2017年の都市対抗野球大会に試験的に実施した全試合インターネットライブ中継は、2年目を迎えた2018年度は、本格的に稼動をさせることができた。また、社会人野球日本選手権大会では、初めて実施する形となつたが、都市対抗野球大会同様継続して実施していく。

競技力向上事業における課題は、1994年以来のアジア競技大会金メダル獲得のため、日本代表候補選手の発掘と育成である。国際経験は極めて重要であると考え、積極的に国際試合の経験を踏ませる。また、各地区連盟が実施する新人研修会への協力やジュニア強化合宿を通じて次世代における育成にも努める。

インドネシア・ジャカルタで開催されたアジア競技大会では、社会人日本代表メンバーで臨み、決勝戦で全員プロの韓国に0-3で敗れたものの、2006年ドーハ大会以来3大会ぶりの銀メダルを獲得した。

また、JABA選抜として2017年に引き続き11月中旬から約1か月に亘りアジアウインターリーグに参加した。結果的には3位に終わったが、計19試合（決勝トーナメントを含む）を行い、国際大会の貴重な経験を踏むことができた。

普及振興事業については、加盟団体である少年野球や女子野球各団体を通じた支援策が基本となる。また、各連盟やチームが行う指導者や審判員の育成、少年野球教室、ティーボール教室などの事業については継続して支援した。同時にJABAのメイン大会の会場である東京ドームと京セラドーム大阪においてティーボール教室を開催、幼稚園児や保護者など両会場を併せて約2,000人が参加した。本連盟創立70周年記念事業の一環として毎年10月7日を「ティーボールの日」とし、初年度の2018年度は、全国196ヶ所の幼稚園等でティーボール教室を開催した。

2019年度は、都市対抗野球大会90回、本連盟創立70周年を迎える。

本連盟は、将来へ向けたあるべき姿を検討するため、2017年2月将来構想プロジェクトチーム（筒井崇謙委員長）をスタートさせ、2018年12月の理事会において基本的な考え方が示された。社会人野球が、10年後、20年後においても、日本の一つの財産として、皆様にその存在価値を認め続けられるよう努力していきたい。

### 2. 本年度の事業内容

#### （1）公益目的事業I 都市対抗野球等、野球大会の開催と運営

##### ア. 第89回都市対抗野球大会・・・（資料1-2, 1~2頁）

期　　日　　7月13日（金）～7月24日（火）

球　　場　　東京ドーム

参加チーム　32チーム

※「大阪市・大阪ガス」（2年ぶり24回目の出場）が初優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。

※全国各地区で行われる予選に対し、それぞれ当該地域の地区連盟を通じて、一部運営経費を負担した。

※大会期間中の運営や観客の移動等に伴い排出温室効果ガスを企業等の協力によりJクレジット等にてカーボンオフセットすることにより温暖化対策に取り組んだ。（資料参照）

※オリンピック・パラリンピック等経済界協議会による「競技場の美化運動」に協力した。

※記念事業企画委員会の開催

2019年度に実施する「第90回都市対抗野球大会・JABA創立70周年」記念事業について、企画委員会を設置し、具体的な事業内容について協議をおこなった。

イ. 第44回社会人野球日本選手権大会・・・(資料1-2, 3頁)

期 日 11月1日(木)~11月12日(月)

会 場 京セラドーム大阪

参加チーム 32チーム

※東海地区代表の「三菱重工名古屋」(4大会ぶり9回目の出場)が初優勝を飾り、  
ダイヤモンド旗を獲得した。

※社会人野球日本選手権大会の対象として代表権を与えた以下の大会に対し、予選費として  
使用球と審判にかかる経費を支給した。

北海道兼東北、長野県知事旗、日立市長杯、東京スポニチ、静岡、ベーブルース杯、京都、  
岡山、四国、九州

ウ. 第43回全日本クラブ野球選手権大会・・・(資料1-2, 4頁)

期 日 9月10日(月)~13日(木)

球 場 メットライフドーム

参加チーム 16チーム

※近畿地区代表の「大和高田クラブ」(5年連続17回目出場)が7年ぶり4回目の優勝を飾り、  
社会人野球日本選手権大会の出場権を獲得した。

エ. 各地区クラブ大会

以下の通り「各地区クラブ選手権大会」として8大会(中国地区と四国地区は合同開催)を  
実施した。

主 催: 日本野球連盟、日本野球連盟各開催地区連盟、毎日新聞社

後 援: スポーツニッポン新聞社

協 賛: ミズノ株式会社

※各大会の運営は開催地地区連盟に委託。大会運営費は各地区連盟に支給した。

2018年度の開催状況

大会名	期 間	球 場	チ ム 数	試合方法	優勝チ ム	準優勝チ ム
北海道地区 クラブ選手権	9/1・2・16	岩見沢市民・ 栗山町民	12	トーナメント	TRANSYS	WEED しらおい
東北 クラブカップ	9/1~2日間	はるか夢・ 岩木山総合	8	トーナメント	矢巾硬式クラブ	釜石野球団
北信越 クラブカップ	9/22~2日間	新潟市営鳥屋野	7	トーナメント	ロキクノBC	オール飯豊
関東連盟 クラブ選手権	9/29~2日間	市営浦和・ 岩槻川通	8	トーナメント	全足利クラブ	警視庁野球部
東海地区 クラブ野球 選手権	9/22~3日間	岡崎市民	8	トーナメント	浜松ケイスポーツBC	エディオン愛工大 OB BLITZ
近畿クラブ 会長杯	11/23~3日間	新日鐵住金広畑・ 高砂市	8	トーナメント	OBC 高島	三菱自動車京都 ダイヤフェニックス
中・四国クラブ 野球選手権	9/15・22・23 10/13	オカミ C・ 東広島アカ S・ 新日鐵住金光・ 美咲町エイコン S	12	トーナメント	福山ローズファイターズ	ショウワコーポレーション
九州クラブ 野球選手権	10/7~2日間	別大興産 S・ 新日鐵明野	8	トーナメント	鹿児島トリムウェーブ	てるクリニク

オ. 2018年度各JABA公式大会結果（主要大会のみ）・・・（資料1-2, 5頁）

カ. 各種プログラム管理（プログラム維持・JABA登録事務手続システム）「選手登録・大会出場管理システム」により全国各地で行われる大会への出場手続や選手の登録管理を行った。管理にかかる費用については、大会運営に直結することから、法人会計との按分により一部費用を大会事業費に計上した。

キ. 広報活動

日本野球連盟報（年刊会報誌）、JABAニュース（月刊会報誌）を通じて大会事業の広報活動を行った。編集発行にかかる費用のうち、大会事業にかかる部分につき、公益事業III（スポーツ情報提供事業）と按分にて計上した。

大会事業の広報活動の一環として、社会人野球情報誌「グランドスラム」の制作に協力、また、インターネット公式ホームページからも情報を発信した。大会事業の広報活動にかかる費用については、公益事業II（普及振興事業）と費用按分にて計上した。

ク. 表彰事業（年間表彰式）

①表彰選考

表彰選考委員会を開催し、主要大会の成績を基に協議した結果、以下のとおり表彰者が決定した。

位 置	氏 名	年令	所 属	回数
投 手	藤 井 貴 之	3 0	日 本 生 命	2
捕 手	辻 野 雄 大	2 5	H o n d a	初
一塁手	岡 崎 啓 介	2 9	日 立 製 作 所	初
二塁手	原 田 拓 実	2 7	日 本 生 命	初
三塁手	森 下 翔 平	2 4	日 立 製 作 所	初
遊撃手	東 條 航	2 7	J R 東 日 本	初
外野手	近 本 光 司	2 4	大 阪 ガ ス	初
	那 賀 裕 司	2 8	三 菱 重 工 神 戸 ・ 高 砂	初
	三 木 大 知	2 7	J F E 西 日 本	初
指名打者	片 山 勢 三	2 3	パ ナ ソ ニ ッ ク	初

（個人賞）※成績・・・（資料参照）

表彰	氏 名	年令	所 属	回数
首位打者賞	辻 野 雄 大	2 5	H o n d a	初
最多打点賞	岡 崎 啓 介	2 9	日 立 製 作 所	初
最多本塁打賞	岡 崎 啓 介	2 9	日 立 製 作 所	初
最多勝利投手賞	勝 野 昌 慶	2 1	三 菱 重 工 名 古 屋	初
最優秀防御率賞	大 竹 飛 鳥	3 3	N T T 東 日 本	初

②表彰式

期日：12月13日

場所：KKRホテル東京（千代田区）

※関係者等約100名が出席して表彰式及びパーティーを行った。

#### ケ. 指導者育成事業

##### ①第43回JABA指導者研修会・・・(資料1-2, 6頁)

大会事業のレベルアップを図るため、1月12日、TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター会議室(千代田区)において指導者に対する研修会を実施した。加盟チーム監督、コーチ等71チーム90名が参加した。

なお、本研修会は普及振興目的と同一の研修会として実施し、かかる費用については、普及振興目的に対する費用と按分計上した。

#### コ. 審判員育成事業

##### ①第61回全国審判講習会・・・(資料1-2, 7頁)

2月9日から3日間、レクザムボールパーク丸亀(丸亀市)に於いて、審判講習会を開催した。各都道府県ならびに傘下団体の審判員56名が参加した。なお、本研修会は普及振興目的と同一の講習会として実施し、かかる費用については、普及振興目的に対する費用と按分計上した。

##### ②各地区・都道府県審判員育成事業に対する支援

各地区連盟又は加盟団体が実施する審判員育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施した。

2018年度は11件の申請に対し、それぞれ委員を派遣した。

#### サ. 公式記録員育成事業

##### ①公式記録員実地研修の実施

7月13日から12日間、東京ドームで開催された第89回都市対抗野球大会において、記録員講習の実施研修として各地区連盟から9名が参加し、公式記録を担当した。なお、指導は公式記録部会委員が行った。

#### シ. 場内アナウンス研修事業

##### ①各地区場内アナウンス担当者実地研修の実施(実地研修につき大会運営費に計上)

7月13日から12日間、東京ドームで開催された第89回都市対抗野球大会において、場内アナウンスの実施研修として1名が参加した。

なお、指導はJABA推薦の講師が行った。

#### ス. コンディショニングスタッフ研修事業

本年度は実施なし。

#### セ. 競技力向上事業

##### ①2018年度全日本ジュニア強化合宿・・・(資料1-2, 8~9頁)

東日本・西日本に分かれ、2会場で行った。

・東日本会場 11月16日~18日 東京ガス大森グラウンド

・西日本会場 11月16日~18日 西部ガスグラウンド

##### ②優秀選手の発掘を目的とする情報収集活動

各地で行われる大会等に競技力向上委員を派遣し、選手に関する情報収集活動を行った。

##### ③各地区連盟等が主催で実施する競技力向上を目的とする研修会に対し、運営費の一部支援、また、競技力向上委員やサポートスタッフの派遣を行った。

#### 【クラブチーム技術研修会】

東北地区 7月 7日 参加者30名(講師:新沼、石井、サポートスタッフ木村)

北海道地区 8月12日 参加者30名(講師:加藤、多幡)

※企業新人研修会と同時開催

中国地区 9月15日・16日 参加者30名(講師:原、村上、坂口、片山)

※企業新人研修会と同時開催

北信越地区 10月13日・14日 参加者30名(講師:横井、坂口、サポートスタッフ伊藤)

※企業新人研修会と同時開催

関東地区(埼玉) 11月25日

参加者40名 (講師: 松本)

### 【企業新人研修会】

東海地区 8月 7日・8日 参加者30名 (講師: 棚橋)

北海道地区 8月12日 参加者30名 (講師: 加藤、多幡)

※クラブチーム技術研修会と同時開催

中国地区 9月15日・16日 参加者30名 (講師: 原、村上、坂口、片山)

※クラブチーム技術研修会と同時開催

東北地区 9月29日・30日 参加者30名 (講師: 新沼、多幡、サポートスタッフ木村)

北信越地区 10月13日・14日 参加者30名 (講師: 横井、坂口、サポートスタッフ伊藤)

※クラブチーム技術研修会と同時開催

### ④全日本野球協会 (B F J) 選手強化委員会事業に対する協力

B F Jが実施する強化事業については、JABA加盟チーム選手や指導者が多数参加することからかかる負担金を拠出した。主なB F J競技力向上目的の事業は以下のとおり。

・社会人代表選手強化合宿

第1回: 3月16日～18日 J R 東日本野球部柏野球場

第2回: 6月21日～24日 佐伯市民球場 (大分県)

第3回: 8月 2日～ 4日 東京ガス大森グラウンド

第4回: 9月18日～21日 東京ガス大森グラウンド (直前合宿)

・大会名: 第18回アジア競技大会・・・(資料1-2, 10頁)

開催国: インドネシア/ジャカルタ・パレンバン

期 間: 8月26日～9月1日

成 績: ①韓国 ②日本 ③チャイニーズ・タイペイ ④中国 ⑤パキスタン  
⑥香港 ⑦インドネシア ⑧タイ

・全日本野球協会からの要請に応じて国際大会等への代表者等を派遣した。

日本代表チーム監督、コーチ及び関係スタッフ

各大会運営スタッフ (審判員、記録員等)

### ソ. 海外研修及び派遣事業

①大会名: アジア・ワインター・ベースボール2018 (AWB)・・・(資料1-2, 11頁)

開催国: 台湾

期 間: 11月22日～12月17日

場 所: 台湾/台中・斗六

成 績: ①NPB イースタン選抜 ②台湾プロ選抜 ③日本JABA選抜

④韓国プロ選抜 ⑤NPB ウエスタン選抜

※予選ラウンドは8勝6敗2分で2位の成績であった。プレーオフで台湾プロ選抜に敗れたが、3位決定戦で韓国プロ選抜に勝利し、3位となった。

※当連盟の強化事業として、渡航費、宿泊費、用具費、スタッフの派遣費用として約1,600万円を計上した。

## (2) 公益目的事業Ⅱ 普及振興事業

### ア. 指導者育成事業

①第43回指導者研修会

前項ケに記載の指導者育成事業について、普及振興目的部分に対する費用は公益Ⅱに按分計上した。

### イ. 審判員育成事業

①第61回全国審判講習会

前項コに記載の審判員育成事業について、普及振興目的部分に対する費用は公益Ⅱに按分計上した。

②各審判員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

前項ケに記載の各地区・都道府県審判員育成事業について、普及振興目的部分に対する費用

は公益Ⅱに按分計上した。

#### ウ. 公式記録員育成事業

##### ①各公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各地区連盟又は加盟団体等が実施する公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施した。(加盟地方団体普及振興事業)

#### エ. コンディショニングスタッフ研修事業

本年度は実施なし。

#### オ. 中学硬式野球協議会事業

##### ①第1・2回全日本中学野球選手権大会(ジャイアンツカップ)の開催

8月13日～17日、東京ドーム他で開催された本大会では、各少年野球団体から32チームが参加し、「大淀ボーイズ」が優勝した。

##### ②各加盟団体等主催指導者講習会に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各加盟団体が実施する指導者講習会に対し、以下の講義について動画を制作し、各会場に配信した。

【1】中学生期における傷害と対応 日本野球連盟競技力向上委員 可知 芳則

【2】中学生のためのトレーニング 東芝野球部トレーニングコーチ 渡辺 拓

【3】講演「指導者に求められるもの」 日本野球連盟競技力向上委員 棚橋 祐司

【4】スポーツ指導における暴力撲滅とコンプライアンス

日本野球連盟顧問弁護士 溝内 健介

以下の会場で実施した。

地域	期日	会場	参加団体	参加者数
1 関東	12月8日	横浜ドーム 研修センター	ヤング、	100
2 静岡	12月9日	ラ・ホール富士 研修室	静岡県野球協議会 リトルシニア	200
3 中日本	12月17日	HOTEL KOYO	ヤング・ボーイズ	531
4 九州北部	1月20日	ホテルニュープラザ久留米	リトルシニア・ヤング ボーイズ・ボニー・フレッシュ	200
5 九州南部	1月27日	サンアリーナせんだい	リトルシニア・ヤング ボーイズ・ボニー・フレッシュ	200
6 関西	1月27日	堺市美原文化会館	ヤング・ボーイズ・ リトルシニア	400
7 広島	3月3日	英数学館中学校	ヤング・ボーイズ・ リトルシニア	200
8 沖縄	3月3日	J Aおきなわ真和志支店	ヤング	100

カ. 女子野球普及振興事業を実施

①全日本女子野球連盟からの要請に応じて事業に対する支援を行った。

キ. 野球教室、ティーボール教室

①都市対抗開催期間中の7月24日に東京ドームにおいて開催。参加者は地元文京区を中心にして東京都内から親子約1500名。また、日本選手権開催中の11月4日には京セラドーム大阪で開催、主に大阪市内から親子約700名が参加した。指導には、日本ティーボール協会並びに女子プロ野球選手らの協力を得た。

②野球競技普及振興事業

JABA加盟団体等が実施する野球振興事業に対し「野球競技普及振興助成金」として一部事業費を負担した。

- ・全国一斉ティーボール教室 196件（資料1-2, 12~13頁）
- ・ティーボール教室・野球教室 38件（資料1-2, 14頁）

ク. 東日本大震災野球復興事業・・・（資料1-2, 15頁）

東北地区連盟との協議により、都市対抗野球大会に出場したチームの協力も得て東日本大震災被災地域における以下の普及振興事業を行った。期間は8月9日から11日。

- ・交流試合 被災地高校と他地区高校の試合、社会人・大学の交流試合
- ・野球教室・交流会 社会人・大学のチームから地元少年野球チームへの指導・交流
- ・指導者交流会 地元チーム指導者と社会人・大学・他地区高校指導者の交流会
- ・震災学習会 震災・災害時に何ができるのかなど、参加高校生が考え学ぶ学習会
- ・ティーボール教室

ケ. 競技力向上事業

①国際事業の日本開催

・第28回世界少年野球大会 松江大会

世界14カ国・地域から120名の子供たちが参加、9日間に渡り野球教室や各種交流イベントが行われた。（世界少年野球推進財団との共催）JABAから3名のコーチを派遣した。

期 間：8月1日～9日

場 所：松江市

②全日本野球協会の選手強化本部事業に対する協力

・第4回WBC U-15ワールドカップ日本代表チームの編成・派遣・・・（資料1-2, 16頁）

全日本野球協会の要請により、中学硬式野球協議会参加団体から役員並びに選手を選出し派遣した。

期 間：8月10日～19日

場 所：パナマ

成 績：①アメリカ ②パナマ ③台湾 ④日本 ⑤キューバ ⑥ドミニカ共和国 ⑦ブラジル  
⑧オランダ ⑨オーストラリア ⑩中国 ⑪ドイツ ⑫南アフリカ

・第10回BFA U-12アジア選手権・・・（資料1-2, 17頁）

全日本軟式野球連盟より役員と選手を選出し派遣した。

期 間：8月13日～19日

場 所：台湾・台北市

成 績：①台湾 ②韓国 ③日本 ④パキスタン ⑤香港 ⑥インドネシア ⑦インド  
⑧スリランカ

・第8回WBC女子野球ワールドカップ・・・（資料1-2, 18頁）

全日本女子野球連盟より、役員と選手を選出し派遣した。

期 間：8月22日～31日

場 所：アメリカ・フロリダ

成 績：①日本 ②台湾 ③カナダ ④アメリカ ⑤ベネズエラ ⑥ドミニカ共和国  
⑦オーストラリア ⑧キューバ ⑨ブルガリア ⑩韓国 ⑪香港 ⑫オランダ

・第2回WBC U-23ワールドカップ・・・(資料1-2, 19頁)  
全日本野球協会の要請により、JABAから役員、コーチ、選手を選出し派遣した。  
期間：10月19日～28日  
場所：コロンビア・バランキージャ  
成績：①メキシコ ②日本 ③ベネズエラ ④韓国 ⑤チャイニーズ・タイペイ  
⑥ドミニカ共和国 ⑦コロンビア ⑧エルトリコ ⑨オーストラリア  
⑩オランダ ⑪南アフリカ ⑫チエコ

・全日本野球協会からの要請に応じて国際大会等への代表者等を派遣した。

日本代表チームコーチ

各大会運営スタッフ(審判員、記録員等)

・その他

チームの海外派遣及び外国チームの招聘に関する事、並びに国際交流を通じて野球競技の国際的な普及・振興に寄与すること、アジア野球連盟加盟国をはじめ、諸外国からの協力要請がある場合については、全日本野球協会と連携を図り、チームの派遣・招待、指導者や審判員、記録員、選手等の派遣等の各種活動に協力した。また、国際野球ソフトボール連盟、アジア野球連盟及び日本オリンピック委員会、日本アンチドーピング機構等の事業については、全日本野球協会を通じて協力した。

③各加盟団体等が行う競技力向上事業に対する支援(加盟全国団体国際大会出場補助費)

各加盟団体が実施する競技力向上事業(選抜チームの海外派遣含む)に対し、申請に基づき一部事業費の負担、講師の派遣等を実施した。

#### コ. 展示による普及活動

野球殿堂博物館の維持会員として運営協力を行った。

#### サ. その他

①野球規則の制定に関する協議

規則・審判委員会を設置し、競技規則に関する協議を行った。また、全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に代表者を派遣し、野球競技規則制定に関する協議に参画した。

②野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議

社会人野球で使用できるバットについては、日本野球連盟(社会人野球)内規に定めている。また、全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議に参画した。製品安全協会に委員を派遣し、野球競技の用器具に関する協議に参画した。

③アオダモ資源育成の会に対する協力

選手が使用する木製バットの資源育成のため「アオダモ資源育成の会」の事業に協力した。

### (3) 公益目的事業Ⅲ 野球情報提供事業

#### ア. 2018年度版日本野球連盟報の発行、配布

2018年度における当連盟の事業や野球に関わる事項等をまとめて発行した。

制作部数は2,200部、配布先は当連盟内外の関係先、希望者に対する販売も行った。

#### イ. 月刊会報誌「JABAニュース」を年12回発行、JABA内外の関係先へ配布した。

発行部数は毎回1万部。

※toto助成金の対象事業である。

※事業実施に際して、大会運営に関わる事業内容の情報提供と普及振興に関わる事業内容の情報提供を含んでおり、事業費については公益事業I(都市対抗野球等、野球大会の開催と運営)にも按分して計上する。

#### (4) 収益事業

##### ア. 大会グッズ等の販売

都市対抗野球大会、社会人野球日本選手権大会、全日本クラブ野球選手権大会におけるグッズやプログラム等の販売を行った。

##### イ. 野球関連の書籍の販売

社会人野球ガイドブック「グランドスラム誌」の販売を行った。

#### (5) その他（諸規程に基づく承認事項等）

##### ア. 2018年度JABA公式大会の承認

- 各地区連盟及び各加盟地方団体から届出のあった2018年度各JABA大会については別紙のとおり承認した。
- 日本野球機構を通じて調整した結果、社会人野球日本選手権大会の対象大会へは、新潟大会には読売ジャイアンツ（ファーム）、広島大会には広島カープ（ファーム）が出場した。
- 四国アイランドリーグPlusと協議した結果、四国大会に高知ファイティングドッグスが出席した。

##### イ. 野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関すること

2018年度における社会人野球の公式戦で使用するボールは以下に掲げる「JABA公認ボール店」11社から申請があったボールとした。

イソノ運動具店、ミズノ、久保田運動具店、松勘工業、エスエスケイ、ゼット、アシックスジャパン、一光スポーツ、ハイゴールド、サンアップ、大阪ホーマー

##### ウ. 所属プロ球団との交流試合

「2018年プロ・社会人交流試合の申し合わせ事項」に則り実施した。

##### エ. 国内独立リーグとの交流試合

国内独立リーグの球団との交流試合は協定書に基づいて実施した。

##### オ. 募金

以下大会にて募金活動を実施し、「毎日新聞東京社会事業団」へ寄付をした。

- 第89回都市対抗野球大会 西日本豪雨災害募金（2,103,438円）
- 第43回全日本クラブ選手権大会 北海道胆振東部募金（47,138円）

##### カ. 2018度加盟チームの推移・・・(資料1-2, 20頁)

##### キ. 2018度加盟チーム数及び登録者数・・・(資料1-2, 21~22頁)

##### ク. 2018年度加盟チームの変更事項・・・(資料1-2, 23頁)

##### ケ. 2018年度一般賛助会員数（JABAクラブ）・・・(資料1-2, 24頁)

##### コ. 2018年度会議開催状況

###### ①評議員会

第1回定期評議員会	5月11日	東京ドームホテル
臨時評議員会	1月15日	決議の省略（書面）

###### ②理事会

第1回定期理事会	4月24日	ジャパンベースボールセンター会議室
第1回臨時理事会	5月11日	東京ドームホテル
第2回臨時理事会	7月13日	東京ドームホテル
臨時理事会	9月4日	決議の省略（書面）
第3回臨時理事会	11月1日	京セラドーム大阪
第4回臨時理事会	12月13日	KKRホテル東京

## 第2回定期理事会

2月22日

T K P 東京駅日本橋カナフルスセンター

### ③業務執行会議

第1回業務執行会議	4月12日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回業務執行会議	7月5日	ジャパンベースボールセンター会議室
第3回業務執行会議	10月24日	ジャパンベースボールセンター会議室
第4回業務執行会議	12月4日	ジャパンベースボールセンター会議室
第5回業務執行会議	2月14日	ジャパンベースボールセンター会議室

### ④各委員会

#### 【事業統轄委員会】

第1回事業統轄委員会	3月27日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回事業統轄委員会	6月16日	ジャパンベースボールセンター会議室
第3回事業統轄委員会	9月20日	ジャパンベースボールセンター会議室
第4回事業統轄委員会	1月24日	ジャパンベースボールセンター会議室

#### 【競技力向上委員会】

第1回競技力向上委員会	7月21日	東京ドーム
第2回競技力向上委員会	11月10日	京セラドーム大阪
第3回競技力向上委員会	1月12日	ジャパンベースボールセンター会議室
第4回競技力向上委員会	2月9日	オーディオテル丸亀会議室

#### 【規則・審判委員会】

第1回規則・審判委員会小委員会	9月4日	日本野球連盟会議室
第1回規則・審判委員会	11月3日	京セラドーム大阪
第2回規則・審判委員会小委員会	1月16日	日本野球連盟会議室

#### 【公式記録部会】

第1回公式記録部会	3月25日	ジャパンベースボールセンター会議室
-----------	-------	-------------------

#### 【コンプライアンス委員会】

第1回コンプライアンス委員会	11月15日	ジャパンベースボールセンター会議室
----------------	--------	-------------------

#### 【クラブ野球活性化委員会】

第1回クラブ野球活性化委員会	7月14日	東京ドーム
第2回クラブ野球活性化委員会	11月2日	京セラドーム大阪
第3回クラブ野球活性化委員会	1月24日	ジャパンベースボールセンター会議室

#### 【倫理審査室】

第1回倫理審査室会議	9月4日	清水法律事務所
------------	------	---------

### ⑤地区連盟会長懇談会

7月14日

東京ドーム

### ⑥日本野球振興会全体会議

5月23日

サピアタワー会議室

日本野球振興会懇談会

7月13日

東京ドーム

### ⑦第1回将来構想プロジェクト

3月12日

ジャパンベースボールセンター会議室

第2回将来構想プロジェクト

4月10日

ジャパンベースボールセンター会議室

第3回将来構想プロジェクト

5月22日

ジャパンベースボールセンター会議室

第4回将来構想プロジェクト

6月29日

ジャパンベースボールセンター会議室

第5回将来構想プロジェクト

9月28日

ジャパンベースボールセンター会議室

第6回将来構想プロジェクト

10月30日

ジャパンベースボールセンター会議室

第7回将来構想プロジェクト

11月30日

ジャパンベースボールセンター会議室

サ. 2018年度 慶弔及び事務局人事

①表 彰

第89回都市対抗野球大会で優勝した「大阪市・大阪ガス」に以下の賞が贈られた。

- ・日本ユネスコ協会連盟賞
- ・第67回日本スポーツ賞（読売新聞社）「競技団体別優秀賞」

②逝 去

2018年 4月14日 橋本 達明（日本野球連盟 元副会長）

2018年 8月22日 大村 一彦（日本野球連盟 元評議員）

2018年 9月20日 野村 隆宏（日本野球連盟 元評議員）

2019年 2月10日 大本 栄一（日本野球連盟 元顧問）

以上